

受験番号	氏名

島根県立大学大学院  
看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）  
令和8年度入学者選抜試験

## 小論文試験問題

### 注意事項

1. 小論文の試験時間は、10時00分～11時30分です。
2. 問題用紙は1冊、解答用紙は2枚、メモ用紙2枚です。
3. 問題用紙、解答用紙、メモ用紙の所定欄に、必ず受験番号・氏名を記入してください。
4. 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
5. 問題用紙・解答用紙に不鮮明な部分や汚れなどがある場合は、声を出さずに手を挙げて、監督員の指示に従ってください。
6. 試験中に質問や用便等の用件がある場合も、声を出さずに手を挙げて、監督員の指示に従ってください。
7. 試験開始後、途中退場を認めません。
8. 問題用紙・解答用紙・メモ用紙を持ち帰ることはできません。
9. 不正行為や、他の受験生に迷惑となる行為をした場合は、退場させることがあります。

島根県立大学大学院

( 試験問題は次のページです )

以下の文章を読んで、問1、問2、問3に答えなさい。

ラルソン、ギルバートとパウエル（一九七八）は、人と接することを職務とするヒューマン・サービス従事者には、クライアントとの関係において、まずは相手への共感者になることが期待されていると述べています。相手と同じ立場、同じ見方に立って、物事を考え、判断することが望まれているわけです。

悩みや疾病、障害を抱える人たちと同じ立場に身をおくこと、価値観を共有することは、多大な努力、それも情緒的な努力をとまなうものです。特に、慢性疾患の患者さんや深い悩みを抱えた人を担当した場合、その努力は並大抵のものではありません。このような状況に献身的にのめりこんでいくことは、過度のストレスを経験することにつながり、ストレス性疾患やバーンアウトのリスクを高めていきます。つまり、ヒューマン・サービス従事者に共感を求める、まわりからの期待が、彼らをバーンアウトに追い込んでしまうことにつながるのです。

この点について、レムカウ、ラファティ、パーディとラディシル（一九八七）は、ヒューマン・サービス従事者は、一方で、心理社会的に感受性が高く、他方で、技術的に卓越していなければならないと述べています。また、ラポポート（一九六〇）は、知的に、かつ情緒的にクライアントと接することが重要であると述べています。彼らが言わんとしていることは、ヒューマン・サービス従事者の資質として、クライアントに対して温かく、共感性を持って接することができるだけでなく、同時に、冷静で客観的な態度を堅持できる能力が必要であるということです。リーフとフォックス（一九六三）は、このような態度を「突き放した関心（detached concern）」と呼んでいます。

「突き放した関心」の姿勢は、クライアントに共感しすぎたために、冷静な判断ができなくなったり、クライアントと同じ「荷物」を背負ってしまったりして、心身ともに消耗してしまうことからの「防衛線」の役割を果たします。自らの身を守るために、ヒューマン・サービス従事者が取得しなければならないきわめて重要な技能であると言えるでしょう。クライアントに共感しながら一定の距離をとる、一見正反対に思える二つの姿勢を個人のなかで矛盾なく両立させるという高度な技能が、ヒューマン・サービス従事者として高いレベルの仕事を維持しながら、心身的な消耗感を回避する、最も効果的な対処法だと考えられています。

しかし、このつかず離れずの態度は、容易に習得できるものではありません。方法論として知っていることはもちろん大切ですが、現場での経験の質と量が決定的に重要となります。逆に言えば、この態度を習得する前に、クライアントとの「濃密な」関係に

より、心身ともに消耗しきってしまう恐れもあります。

出典：久保真人，バーンアウトの心理学 燃え尽き症候群とは，サイエンス社，pp.135-137，2004.

問1. 課題文の中では、ヒューマン・サービス従事者とバーンアウトの関係についてどのように述べられていますか。150字以内で要約してください。

問2. 課題文を読み、著者が述べる「突き放した関心 (detached concern)」について180字以内で要約してください。

問3. 現場での経験が浅いヒューマン・サービス従事者が、高いレベルの仕事を維持しながら心身的な消耗感を回避するにはどうしたらよいか。課題文の内容を踏まえたうえで、あなたの考えを600字以内で述べてください。